

チームエフエガーラ

津村 知明

レースレポート

2010年3月21日

IMPカートレース第1戦

SSクラス(参加5台)

CIRCUIT : 井頭モーターパーク

フレーム : birel RX31SE
エンジン : YAMAHA KT100SD
タイヤ : ブリジストン SL07
エンジニア: 加藤 真(レーシングサービス エフエガーラ)
メカニック: 田口 剛(チーム エフエガーラ)



★今大会にむけて

昨今 井頭シリーズは、川口選手の独壇場になっているので、今年は何としても流れを変えるという強い気持ちでサーキット入りしました。また、タイトコーナーでのドライビングに問題ありなので その部分を改善する事も重要な課題でした。前日の走行では、試行錯誤するも 根本的な改善には至れず ベストでは川口選手より0.3秒以上も遅い状況でレース当日を迎える事になりました。

◆レース結果

TT 3位(31.823)
予選① 2位
予選② 5位
決勝 2位

◆シリーズランキング
2位(12ポイント)
第1戦終了時点

◆レースレポート

公式練習:

路面はちよい濡れのため、レインタイヤでコースイン。なかなかタイムが出せず トップ伊沢選手より0.4秒遅いタイム。しかし、路面は直ぐに乾くと予想されるので あまり重要視せず。

TT:

直前に走行していたSクラスのタイムを見て ドライタイヤを選択。(伊沢選手を除き 他車もドライを選択。)
タイヤは正解だったが、路面状況に対応しきれず、またギヤの選択もミスリ トップ川口選手より0.7秒も遅い3番手。やはり一筋縄ではいかなさそうだ。

予選①:

予選①は序盤から仕掛けてみることに。

3番手からスタートし1コーナーで2番に浮上し、前を行く川口選手を3コーナーで捕らえトップに。その後7周ほどトップを走るも抜かれて2位に落ちる。チャンスを狙うべく追走したが再び仕掛けるには至れず2位でチェッカー。

予選②:

予選②では大幅なセット変更を試みた。

決勝に向けての戦略だったが、あろうことか ボンミスをしてしまいローリングでマシンを止めリタイヤ。セット変更のよし悪しも判断できずに決勝を迎える事になる。

決勝:

一か八か、予選②で試せなかったセットをそのまま採用して挑んだ決勝。

2番手からスタートしたが、3番手イン側からスタートした伊沢選手がトップ川口選手にビタ付け状態で上手くスタートを決めたため3番手に落ちる。4コーナーでは 伊沢選手が前を走る川口選手のインに飛び込んだのを見て 一緒に入ろうと試みたが川口選手のリアバンパーに乗り上げ失速。それで5番手まで落ちる。

その後、必死になって追い上げるも万事休す。先行する川口選手には一度も仕掛けられないままチェッカー。序盤で自ら自爆という、アホなレースをしてしまいました。

★レースを終えて

今回は、反省だらけの内容でした。

前日の走行、TTでは大きく水を開けられたが いざレースになると それほどの差は開かず

予選①では一時トップに立てたし、決勝のラップタイムでも遜色無かった。

冷静に考えれば、決勝の序盤で無理に仕掛ける必要は全く無く、焦って仕掛けた事でレースをふいにしたと思います。

次週はFESTIKAでレースがありますので、

今回の失敗を生かし まずは冷静に、そしてチャンスを確実に物にできるように頑張ります。

そして、昨年FESTIKAでもタイヤを外しているの、今年の外さないようにしたいと思います。

オフィシャルさんごめんなさいm(_ _)m